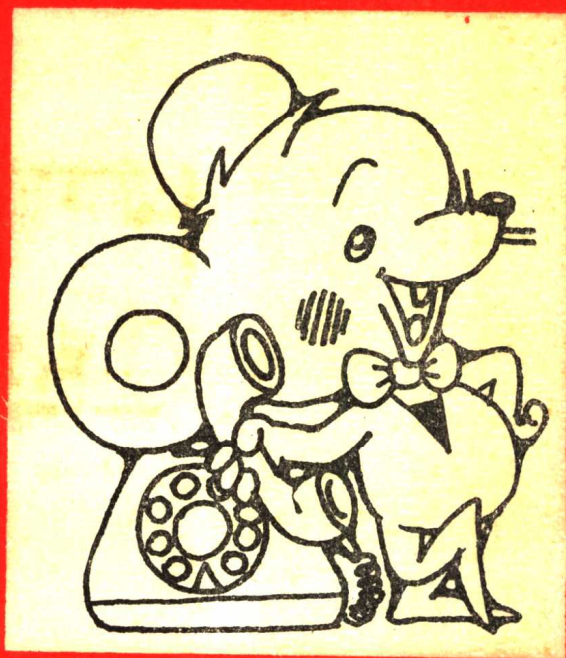


服务日语情景会话

石原正宣

编著

宋继庆



大连出版社

服务日语情景会话

石原正宣 宋继庆 编

大连出版社

1988年·大连

服务日语情景会话

石原正宣 宋继庆编

大连出版社出版 辽宁省新华书店发行
大连市联合路联兴巷19号 大连船舶生产服务公司印刷公司印刷

字数：18.0000

开本：787×1092 1/32印张：8

印数1—10.000

1988年10月第1版

1988年10月第1次印刷

责任编辑：洪伟

封面设计：李宝莲

责任校对：纪勤

ISBN 7-80555-041-7/G·13

定价：2.80元

はじめに

本書は、現在日本語を使う仕事に従事しながら、その会話力をさらに高めようとしている人や、将来日本語を使う仕事に就くために、会話を勉強中の人、さらに、自分の研究や仕事をより充実させるための日本留学を志し、その時に必要な日常会話を学習している人等を対象にして、各々に必要な場面を想定し、会話文を用意したものである。

第一から第十二までの場面は、日本であり、日本で日常生活を送る際に必要な生活語は勿論のこと、日本の風俗習慣もできるだけ紹介しながら書き進めた。風俗習慣の違いが理解できなくて、研鑽を積む以前に、挫折感にとらわれ、あたら、自分の希望を放棄するものも少なくないと聞くと、その違いを理解することは、真の日本、日本人理解につながり、日本で、日本人と共にする学問、研究の上で少なからずメリットを生み出すものと考えた故である。

第十三から二十では、旅行社のガイド、ホテルや友誼商店の従業員など、日本語の会話力を要求される職業に既に就いている人、又将来就きたいと願っている人を意識して、場面は中国に設定した。

そして、全体を通して大切にしたい会話における基本姿勢は、会話の相手に対して、常に敬意を持ち、それを実践するというものである。

そうすると、尊敬語を始めとする敬語を駆使することがまず考えられて、頭が痛くなる人がいると思われるが、それは、『習うより慣れろ』という形のなかで、永い時間を掛けて理解し、自分のものにしていくものであって、必要以上に神経質になることはないのである。勿論、敬語は、日本語学習にとって欠くべからざるものであり、その学習は継続されなければならぬが、会話時に、それに捕われ過ぎては、出る言葉も出なくなり、反ってマイナスの結果すら生み出してしまう恐れがあると思う故である。

それよりも、というより、それ以前に大切にすべきものがある。それは、何も特別なことでなく、只「会話の相手の意見や話をよく聴く」ということである。ここに、日本語の会話の基本がある。そこには、幾分日本人の謙虚癖とも言うべき考え方が入っていると思われるが、その癖そのものが、日本語会話の特徴、特性になっているのである。

具体的には、自分の意見を言う前に、相手の発言を一度受けとめたという証明になる言葉を使うということになるだろうか。これは、時には相槌の言葉であろうし、感想であってもいい、そして、賛成、反対の意見となってもいいのである。賛成意見や反対意見を言うところになれば、相手の話を聴く段階から、もはや、自分の意見を言う段階に移行しているわけだが、こういう姿勢での意見の交換は、相手の意見を尊重していることが相手にも通じ、反対意見ですら、単なる言葉の交換にとどまらず、心の交流に大いに役立つ要素となり得るのである。

こういう考え方で、本書を書き進めたのであるが、この考え方の背景には、対話の言葉やその時の姿勢こそが、言語、イデオロギー、生活習慣の異なる異民族間の相互理解を深める媒体であり、それを大切にしながら、実践することが、異民族間における真の友好だという確信がある。

编者

1988年6月

目 录

一、出迎え	(1)
二、空港からホテルまで	(11)
三、会社訪問	(22)
四、町案内	(33)
五、家庭訪問	(44)
六、電話	(56)
七、海水浴	(67)
八、暑中休暇	(80)
九、商談	(92)
十、社員旅行	(103)
十一、病気見舞い	(115)
十二、送別会と見送り	(126)
十三、空港	(137)
十四、ホテルにおいて	(147)
十五、観光	(168)
十六、友人訪問	(184)
十七、急病	(197)
十八、銀行と郵便局	(208)
十九、買物	(221)
二十、お別れ	(238)

一、出 迎 え

① 空港到着ロビーにて①

鈴木 「私が去年中国に行った時には、陳さんに、仕事の上だけでなく、日常生活の面でも大変お世話になりましたね。」

山口 「そうでしたか。異国の地では、人の親切ほど有難いものはありませんものね②。さぞかし心強く思われましたでしょう。」

鈴木 「そうですね。ですから、この度の彼の滞在期間中は恩返しということではないんですが、出来る限りお世話しなくてはと思っていますんですよ。君達も宜しく頼みますよ。」

山口 「はい、承知致しました。」「飛行機は、定刻通り到着のようですから、陳さんは、もうそろそろゲートから出ていらっしゃるのではないのでしょうか？」

鈴木 「そうねえ。手荷物の受取り、スムーズにいくといいんだが。」「彼は大変背が高く、眼鏡を掛けておりますから、出て来られれば直ぐわかりますよ。」「ああ、あそこに来られましたね。あの方ですよ。」

鈴木 「陳さん！こちらです！」「ようこそいらっしゃいました。」（山口は鈴木と一緒にお辞儀をする）

陳 「こんにちは。鈴木さん、お出迎え有り難うござい

ます。その節は大変お世話になりました。」

鈴木 「いやあ、こちらこそ大変お世話になりまして。その後御無沙汰致しまして申し訳ございませんでした。でも、陳さんもお元気そうで何よりです。」

陳 「はい、お蔭様で。」

鈴木 「御家族や〇〇会社の皆様もお元気でしょうか？」

陳 「ええ、皆元気です。所長も、家内もくれぐれも宜しくと申しておりました。」

鈴木 「有り難うございます。」「つい懐かしくてこんなところで立ち話をしてしまいましたが、二階の喫茶店へ参りましょう。」「お荷物持ちましょう。」

陳 「恐れ入ります。ではこれをお願いします。」

② 喫茶店にて

ウェイトレス 「いらっしゃいませ！三名様でいらっしゃいますね。どうぞ、あちらのお席にお願い致します。」

鈴木 「有り難う。」「陳さん、あちらです。」

ウェイトレス 「何に致しましょう？」（メニューを、水とおしぼりと一緒に、テーブルの上に置く）

鈴木 「何を召し上がりますか？」

陳 「私はもともと何でも戴けるたちですから、お任せ致します。」

鈴木 「そうですか……では、ショートケーキにホットコーヒーで宜しいでしょうか③？」

陳 「はい、結構です。」

鈴木 「山口君もそれでいいですか？」

山口 「はい。」

鈴木 「ショートケーキに、コーヒーをお願いします。」

ウェイトレス 「はい、かしこまりました。少々お待ち下さいませ。」（メニューを持って行く）

陳 「ところで、鈴木さん。失礼ですが、こちらの女性
はどなたですか？」

鈴木 「紹介が遅れて申し訳ありません。弊社の社員で、
私と同じ庶務課の山口です。」「こちらが、〇〇公
司の陳さんです。」

山口 「初めまして。この度鈴木と一緒にお世話をさせて
戴くことになりました山口と申します。不束者（ふ
つつかもの）ですが、宜しくお願い致します。」

陳 「陳と申します。こちらこそ、初めての海外生活
で、何も分かりませんので、どうぞ宜しくお願いし
ます。」

鈴木 「陳さん、遠慮なさらず、二人に何なりと用事を言
いつけて下さいね。」

陳 「はい。有り難うございます。」

ウェイトレス 「お待たせ致しました。」「ごゆっくりお
召し上がり下さいませ。」（勘定書きを裏側にして
置く）

鈴木 「冷めないうちにどうぞ。」

陳 「はい、戴きます。」

山口 「陳さん、長時間飛行機に乗ってらっしゃってお疲
れになられましたでしょう？」

陳 「いや、そうでもないですよ。87年の4月から大連

一 成田間に直行便が就航しましてね。そうですね
え⑤、3時間ちょっとで着きましたか。」

鈴木 「それは便利になりましたねえ。週に何便くらい出
ているんでしょうか？」

陳 「中国民航と全日空が一便ずつだったと思います
が。」

鈴木 「そうですね。そうなりますと、大連は、歴史的に
も日本と関係が深い上に、風光も、気候もいいです
から観光客は益々増えるでしょうね。」

陳 「そうですね。現在は、かつて大連に住んでおられ
たというお年寄りの方が、かなりお見えのようです
ね。」

山口 「大連は、きっと郷愁を感じさせる素晴らしいとこ
ろなのでしょうね。」

鈴木 「そうねえ、昔のロシア風の建物がまだ街のあちこ
ちに残されているんだけど、それらとね、街の中心
から放射線状に広がる道の両側に、整然と植えられ
ているポプラや柳、アカシアや鈴掛けの並木がね、
独特なエキゾチックな雰囲気を感じさせてね。」

陳 「そうですね、鈴木さんも、その雰囲気がいい、好
きだとおっしゃって、暇がお出来になりますと街の
なかを散歩されてましたね。」

鈴木 「そうでしたね。アカシアの花の咲いていたときに
は毎夕出かけましたよ。白く、可憐な花が何とも言
えぬロマンチックな香りを街中に漂わせまして
ね。」

山口 「素敵ですわね。私も是非一度行ってみたいですわ。」

鈴木 「私も、是非もう一度行ってみたいですわね。」「話は尽きませんが、道路が混まないうちにそろそろ参りましょうか。」（時計を見ながら）

单 词

ロビー	(名) 门廊, 大厅
異国 (いこく)	(名) 外国
有難い (ありがたい)	(形) 难得的, 稀有的; 值得感谢的
さぞかし	(副) 想必, 一定是
心強い (こころづよい)	(形) 心中有倚仗的
滞在 (たいざい)	(名・自サ) 逗留
そろそろ	(副) 就要, 不久
スムーズ	(形动) 顺利, 圆滑
辞儀 (じぎ)	(名・自サ) 点头, 鞠躬
御無沙汰 (ごぶさた)	(名・自サ) 久未通信
何より (なにより)	(名・副) 比什么 (都好), 最好
くれぐれ (呉呉)	(副) 恳切地, 衷心地
つい	(副) 不知不觉地, 无意中
立ち話 (たちばなし)	(名・自サ) 站着闲谈
ウェイトレス	(名) (餐厅等的) 女服务员
ショートケーキ	(名) 花蛋糕
ホットコーヒー	(名) 热咖啡

弊社（へいしゃ）	（名）敝社
不束（ふつつか）	（形动）没有礼貌，不周到
就航（しゅうこう）	（名・自サ）就航；航行
益益（ますます）	（副）越发
郷愁（きょうしゅう）	（名）怀念故乡
広がる（ひろがる）	（自五）扩展
エキゾチック	（形动）异国情调的，外国样式的
毎夕（まいゆう）	（名・副）每夕，每晚
可憐（かれん）	（形动）可爱的
ロマンチック	（形动）浪漫的，香艳的
漂う（ただよう）	（自五）散发
素敵（すてき）	（形动）好，极漂亮

注 释

A

①、にて

「にて」是文语中的格助词，相当于现代日语中表示场所的格助词「で」。一般已不使用，只有少数情况如写通知、告示等时，偶尔能见到。

②、人の親切ほど有難いものではありませんものね。

副助词「ほど」表达几种意思，在这里与表示否定的谓语相呼应使用，用于事物间的比较，是“没有比……再……”的意思。

语尾的「もの」是终助词。女性、儿童用的比较多，表示一种轻微的感叹。有时可以说成「もん」，这种用法听起

来比较随便。

- ③、ショートケーキにホットコーヒーで宜しいでしょうか。

格助词「に」在本文中表示列举、添加的意思。即同类事物的举例时常常用。如日本的火车站上经常听到“弁当にお茶，弁当にお茶”的叫卖声。

- ④、冷めないうちにどうぞ。

「うち」表示某一段时间、一个时期。这句话的原意是还没凉的时候，按汉语习惯可译成“趁热……”。

- ⑤、そうですね、3時間ちょっとで着きましたか。

这句话在本文中不是平时说话时表示“是的，是啊”之意。当回答别人提出的问题时，考虑回答的内容或思考如何决定时，用它来表示其思考过程。另外，向别人介绍什么，考虑怎么说或说什么时，用“そうですね”来填补这一段，说明了在考虑。如「いくつ買いますか」（您买几个？）「そうですね。五つください」（几个好哪。那就给拿5个吧。）

B

一、～さん

接尾词「さん」是敬语，不是可以在任何场面、接在任何人的名字后面的。一般从语言习惯讲，向别人介绍我方成员时不加「さん」，另外，谈话中所涉及到的我方人员而称呼他（她）时也不加「さん」。

二、いらっしゃいませ。

这是对客人表示欢迎的寒暄语。商店的店员出于对客人的尊敬，经常使用。在日常生活中，除特殊情况，如自己丈夫公司的社长之类大人物来访而外，对别人的来访表示欢

迎时不宜使用，这时常用的是「よくいらっしゃいました」、「ようこそいらっしゃいました」。

三、勘定書きを裏側にして置いていく。

在日本不管是去饮食店还是去餐馆，点好你要的东西后，服务员就把记好的帐单翻过来放在桌子的一角。离去时，付款人拿着写有钱数的帐单到出口付款处交钱。

参 考 译 文

迎接客人

① 在机场候客厅

铃木 我去年到中国的时候，陈先生不但在工作上，就连生活方面都给了我很大的关照。

山口 是吗！在异国他乡，没有比人之间的亲切更珍贵的。你一定觉得有所依靠吧。

铃木 是啊。所以，我想这次在他逗留期间，不是报恩，应该尽量照料好他。你们也多关照点。

山口 知道了。飞机好象是正点到达，陈先生是不是该出来了？

铃木 差不多了。取手提行李要是顺利的话就快了。他高高的个子，戴着眼镜，要是出来的话一眼就能认出来。啊，他来了，就是那位。

铃木 陈先生，我在这儿！欢迎您。（山口与铃木一起行礼致意）

陈 您好，铃木先生。多谢您来接我。那时受到您很大的

关照。

铃木 哪里。得到关照的是我呀。在那以后一直没能写信，实在对不起。不过陈先生看上去很健康，这太好了。

陈 这都托您的福。

铃木 您家里人和○○公司的诸位都好吗？

陈 噢，都好。所长和我爱人向您问好。

铃木 谢谢。哎呀，一切都令人怀念，竟站在这儿唠了起来，咱们去二楼的咖啡馆吧。行李我来拿。

陈 这真不好意思。麻烦您拿一下这个。

② 在咖啡馆

女招待员 您来了，是三位吧。请到那边的座位就坐。

铃木 谢谢。陈先生，这边请。

女招待员 来点什么？（把菜单、水和湿毛巾一同放在桌子上）

铃木 您要什么？

陈 我没有不行的，您看着要吧。

铃木 是吗？那么来点花蛋糕、一杯热咖啡可以吧。

陈 可以。

铃木 山口君你也来这个行吗？

山口 行。

铃木 请来点花蛋糕，还有咖啡。

女招待员 好的，请稍候。（取走菜单）

陈 对不起，铃木先生，这位女士……？

铃木 噢，对不起，我介绍晚了。她是敝公司的职员，和我在一个总务科，叫山口。这位是○○公司的陈先生。

山口 初次见面，我叫山口。这次和铃木一起来照料陈先生。我很粗心，请多关照。

陈 我姓陈。我是初次到国外生活，什么都不懂，请多关照。

铃木 陈先生不管有什么事儿都别客气，请吩咐我们俩吧。

陈 谢谢。

女招待员 让您久等了。请慢慢吃。（把帐单翻过来放在桌子上）

铃木 趁着热乎劲儿，请。

陈 就不客气了。

山口 陈先生坐了这么长时间的飞机一定累了吧。

陈 不太累。从87年4月大连到成田之间直达航线就通航了。嗯……，用了3个多小时就到了吧。

铃木 那可方便多了。一周飞几次？

陈 中国民航和全日空各有一次班机。

铃木 是吗。大连在历史上与日本就有久远的关系，而且，风景秀丽，气候宜人，这样一来，旅游客人会逐渐增多的。

陈 是啊。现在有不少过去曾住在大连，已上了年岁的人去那儿观光。

山口 大连一定是个让人怀念故乡的旅游胜地了。

铃木 不错。在市内可见到一些过去的俄式建筑物。还有从市中心呈放射线形向四处伸展的马路两旁整整齐齐地栽着的杨树、柳树、槐树及篠悬木，这些都使人感到一种独特的异国风情。

陈 是啊。铃木先生也说很喜欢那种和谐的气氛，一有时间就去街里散步，是吧。

铃木 是经常去。当槐树开花时，每天傍晚都去。它那小巧